

リーフ輪姦

主従関係 わからせ陵辱



私の名前はリーフ：
ポケモントレーナーです

自慢じゃありませんが
トレーナーとしてはかなり強い方だと思います



その日…

私は風の噂で聞いた
「負けの森」という所に来ていました

何でも、

誰も勝てない野生ポケモンがいるんだとか…

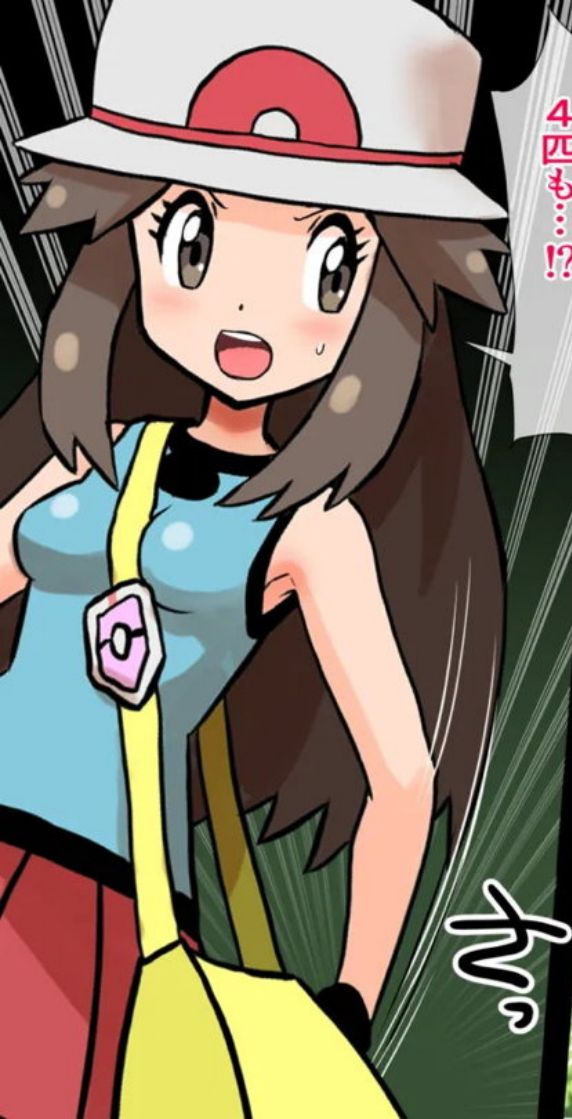
一体どんなに強い野生ポケモンがいるのか…

楽しみではあれど、怖くはありませんでした

リーグを制覇し、今やチャンピオンになった私に
勝てる者なんて誰もいない！

そう思っていたからです…

それが最大の過ちだと気付かず…



野生のワンリキー！
4匹も…!?

ふっ



がががが！

！！

バッ！



負けの森って言うから
何が出てくるかと思えば…
ザコばかりじゃない！
私が負けるなんて
ありえないわ！！



焦っちゃダメ…
落ち着くのよリーフ！

突然囲まれ
驚きましたが、
私には
自信がありました



ワシリキーは
直接的な技だけで
厄介な技は持ってないはず

たとえ
多少レベルが高くたって
進化する前のポケモンだもの
楽勝ねっ！





結論から言えば私は……

自分のポケモンを鞍から取り出すよりも早く
一瞬で体の自由を奪われてしまったのです……



後に
詳しく聞いた話だと
この一帯は
オスのワンリキーの
遊び場で……

足を踏み入れたオスは
ポケモンだろうと人間だろうと襲われ……
彼らが飽きるまで強姦される
危険な狩場だったのです……

私は手持ちポケモンさえいれば怖いものは無いと
たかを括っていました……森を舐めていたんです……

ポケモンを出せなければ……私はただの非力な女子供でしかないのに……

かくとうタイプの圧倒的な腕力…
振り解こうとしてもビクとしません

それでも諦めず全身で暴れ抵抗する
私の顔の前に…

ワンリキーの…おちんちんが差し出されました

あめず
あ
あ

ずしっ

鼻の奥を刺激するオスの臭い…

ギョッとするのも束の間…私は身体の異変を感じました
全身が汗ばみ胸がキュンキュンし…下半身が熱くなる

たぶん…あれは【メロメロ】の技

「これ以上嗅いだらヤバイ……!」

そう思い息を止めた次の瞬間――

私は一瞬で笑い出し、
また目の前のオチンチンの臭いを
吸い込んでしまいました…
何度も何度も…

体は発情を止められず
痛いくらいに勃起した乳首は
しゃぶりつかれて
いつの間にかパンツは脱がされ…

上から抱きついて来た
ワンリキーが
私の…アソコに…指を入れて…
ぐばつと開きました…

普通なら痛いはずの
開き方…
でも……

ぐずぐずにトロけてたアソコは…
むしろ自分から開いた感じで
粘っこい糸を引いて恥ずかしい汁を垂れ流し…
まるで期待してなみたいに……

いえ…正直…期待していません…ドキドキしてなんです
この逞しいモノが入れられたら…どんなに気持ちいいだろうって…
さっきまで嫌悪感で一杯だった苦なのに……



腕はがっしり捕らえられ、
どうにか顔をオチンチンから逸らそうとしても
くすぐりと絶え間ない快樂地獄で
私の体は仰け反り絶頂を続けるしかありませんでした

腰は
とつくに抜けてたけど
崩れ落ちることを
下から突いてくる
オチンチンが許しません

私は恥ずかしい言葉を叫びながら
狂ったように絶頂を繰り返しました……

オホ
ほ
めまん
ぽん
ぽん
ぽん

どちゅん どちゅん どちゅん どちゅん どちゅん



「このままじゃヤバイ!」

「イキ狂わされて
本当に頭がおかしくなっちゃう!
戻れなくなっちゃう!」

絶頂の合間の一瞬、
恥ずかしい台詞を叫んだ
羞恥心と危機感が
理性を取り戻させてくれました

「反撃…
何か反撃をしないと…!!
今反撃しないと…今…ッ!」

!!

「急所…
そうた性器は
急所な筈…!」

どうにか攻撃を…」

「身体はダメでも
口だけなら動かせる!
噛んで反撃するのよ!
そうすれば隙が出来る!
噛みちぎってやる!
思いつ切り噛みちぎってや









えへへへ

…えへへへ

くちゅ
すん♡
すん♡
すん♡

えへへへ

えへへへ

えへへへ

えへへへ



考えてみれば当たり前のことでした……

メロメロの臭いはオチンチンから出ていたんだから……
そんなものに直接……回が触れたらどうなってしまうか……

メロメロ原液のチンポ汁を舐めてしまえばもう戻りません

えへへ♡
うさい♡
おいしい♡

チンポくさい♡

すき♡

すき♡

べろ♡

べろ♡べろ♡

ろ♡ろ♡ろ♡ろ♡

オスチンポ♡

えへへ♡

チンポ♡

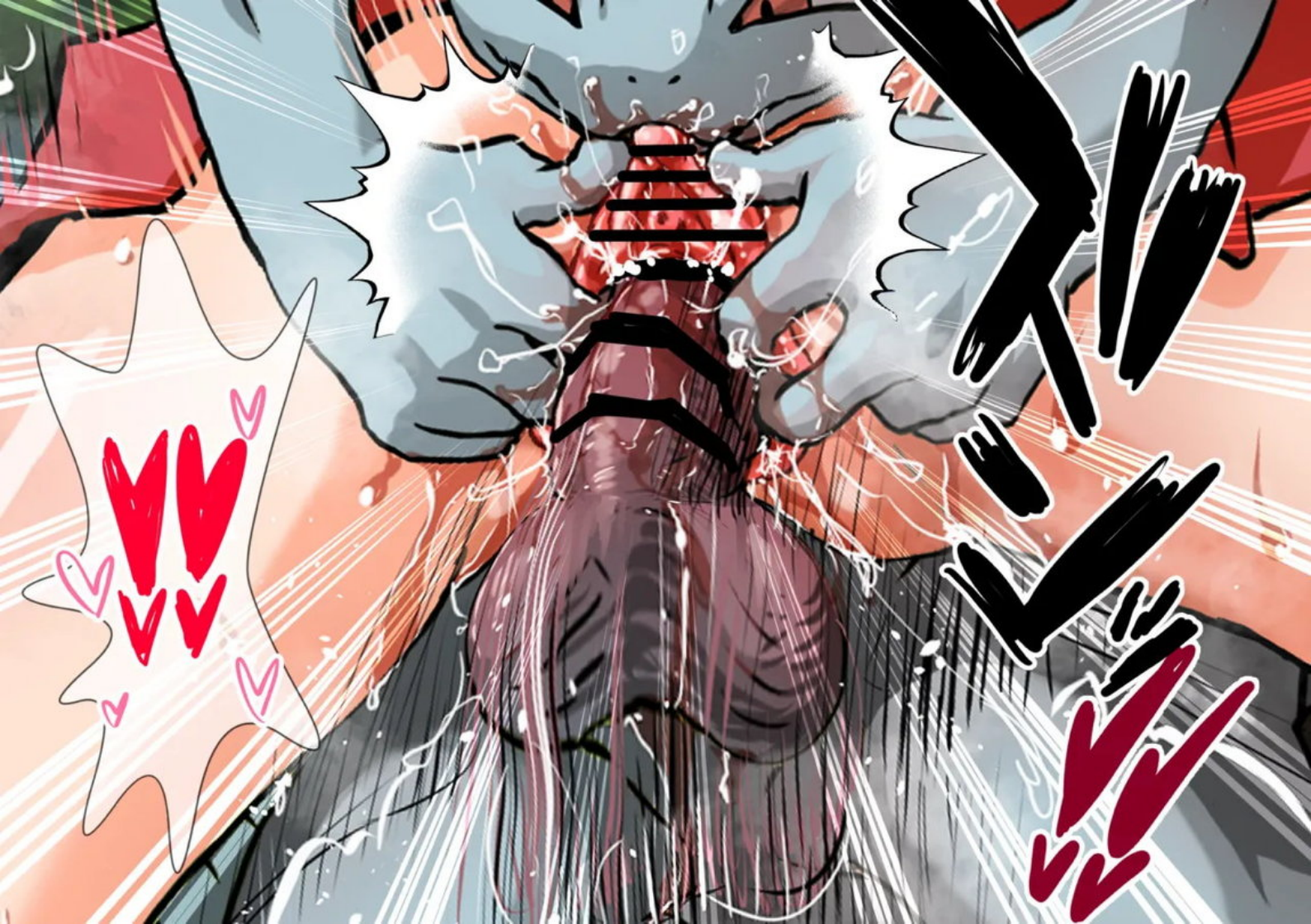
くさい♡
チンポすき♡

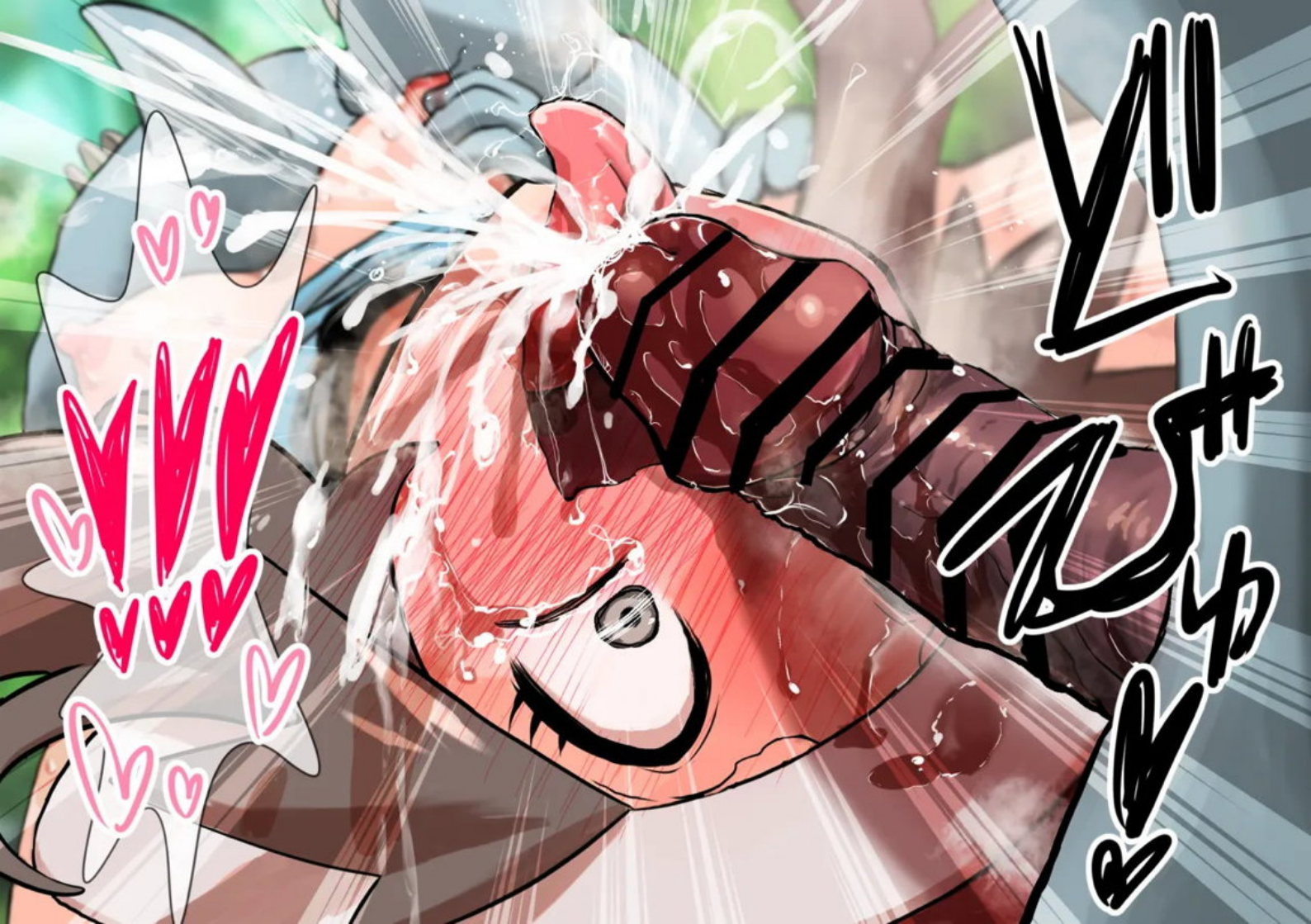
おいしくて愛しくてたまらず
私はチンポを舐め続けました……
心の奥ではダメだと分かっているのに……

舌が、口が、身体が、オマンコが
叫んでいました
チンポが自分の主人だと...

メスはオスのチンポに
服従するしかない存在なんだと.....









.....♡
「いっ...♡
♡

.....
×ロ×ロ
特濃...♡♡

♡
「きゃだっ...♡
♡

チンポ汁膣内射精っ.....♡♡♡







精液が…ワンリキーのチンポ汁が…
メロメロ液の濃縮原液が…
子宮口を直撃し口内に注がれた瞬間…

脊髄を電流のような快楽が貫いて…
私はこれまでよりも更に深い…圧倒的な
快感で絶頂に達しました

アタマが真つつつ…白になり…
押し寄せる多幸福感…恍惚の中…

私は
ポケモントレーナー
なんかではなく…

チンポを…オチンポ様を
気持ち良くするための
ハメ穴に過ぎないんだと…
種付けされる為に生まれた
メスなんだという事を…
身体的最奥から理解わからされました…
生物として圧倒的な「負け」…
人間とポケモンである前に…
どうしようもない「メス」であることを…

言い逃れようがありません…
だって私の上の口も…下の口も…考えなくても動いていたんです…
オチンポ様を出す…お恵みくださる…
エッチで強いオス汁を…一滴も逃すまいと動いていたの…
舌は亀頭を舐めまわし…精液を喉に送り…
膣壁は精液を搾り取る為に収縮して…
子宮はゴクゴクと音を立て飲み込んでいたんですから……

この後は……

さらに交代で犯されたんだと思います…あまり覚えていません
何度も射精されては絶頂し…
回からもオマンコからも精液を注がれ潮を吹かされ…



数え

切れないくらい

膣内射精され

マンコで絶頂

子宮で絶頂

クリで絶頂

腋で絶頂

乳首で絶頂

触られただけで絶頂

チンポの臭いを嗅いだけで絶頂……

一晩中犯され……犯され尽くした後……

ワンリキー達が飽きたのか

私は解放されました……

というより

森の出口に捨て置かれたんですけど……

去り際にワンリキーが

含みありげな笑みで私を二瞥したのを

覚えています……

ニヤリと笑い、何かを確信したような目……

その意味はわかりませんでした、

私は放心しながらも

安堵していました

巢に持ち帰られて……一生ワンリキーの

性欲を発散するための性奴隷にされるだろうと

思っていたから……

身体は疲弊し切って……感覚もおかしくて……

どうやって帰ろうかと考えても

上手く考えられず……思考がバラバラな中……

……私のこれからの人生を……

性欲まみれの野生ポケモンなんかに決定されなくて

良かったと……

安堵していました……

気がつくと森を出て
街にいました…

ポケモンセンターの宿で
シャワーを浴び…
ドロドロに眠り…
とにかく回復して…
今回の事は忘れようと思いました…

でも…いくら考えないようにしても
ダメなんです

買い物をしてでもバトルをしても
心は晴れません
あの時の光景…
ザコポケモンのくせに
私を見下す目…

日に日に悔しさと怒りが募り
私はこれじゃダメだと思いました

「目を背けちゃダメ
ポケモンリーグ殿堂入りして
チャンピオンにまでなった私が
野生のワンリキーなんか
バトルも出来ずに負けたまま
でいるなんて…
そんなの絶対許せない…！」

私はリベンジを誓いました



まず作戦を
考えよう…

あいつらに接近
するのは
良くないわ

遠距離から
手持ちポケモン全員で
一気に技を出して
殲滅するのが一番ね

私のポケモンは
みんな高レベル…

レベルの低い
ワシリキーの群れなんて
楽勝なんだから…

でも…
あいつら
頭は良さそうだったわね



攻撃に気付かれると
森に隠れて出てこないかな…

あの森は広いし…

となると…
まずは接近して
おびき寄せる必要があるわね

まずは
手持ちを外に出さずに
…

私一人で無防備に
あいつらに
身を晒し…

ワシリキー達を
誘い出して…

誘い出さる.....



でも...もしも...
もしも...また...

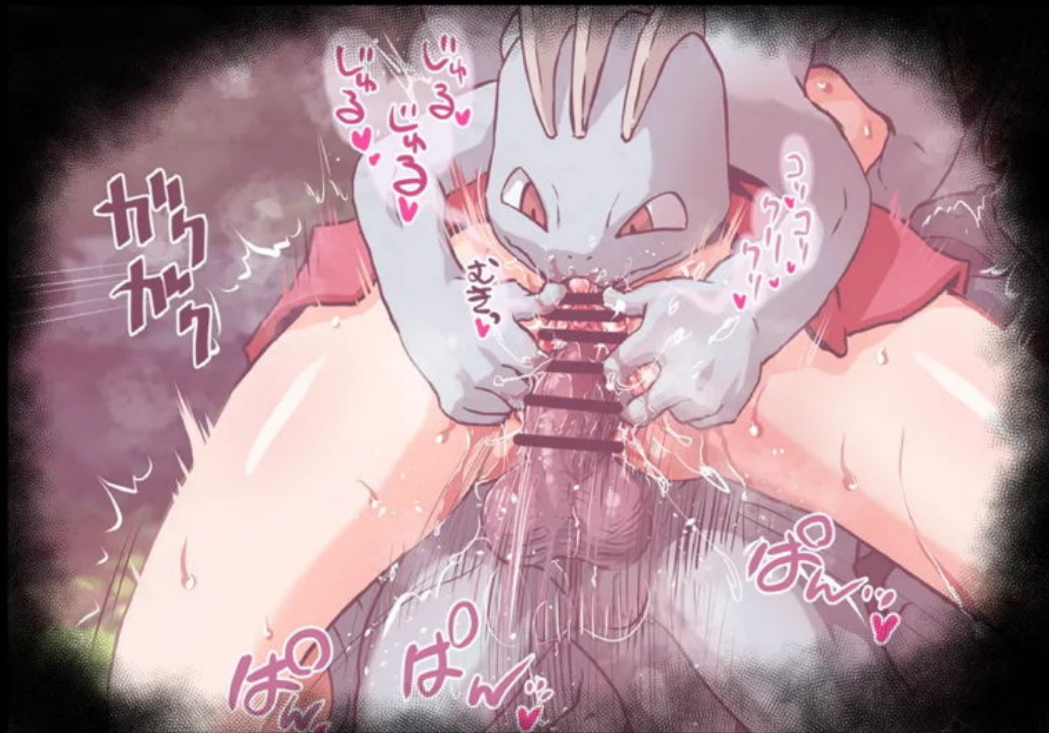
手持ちを出す前に
私が捕まっちゃったら...っ



よ...寄ってたかって
女の子を
力づくで抑え込んで...っ

は...っ.....
放しなさいよっ...
卑怯者っ...

オスの力で
無理矢理っ...
組み敷かれてっ...



や...やめてっ...

いやっ...
いやっ...
♡



あっあっ♡
クリっ♡クリトリス
しゃぶらないでっ♡

唇で
クリの皮剥くのダメ♡
それっ...♡



勃起クリトリス
吸いながら舌でくすぐらないでっ♡
クリ吸いながら♡
先っちょを舌でっ♡チロチロっ♡
それ腰抜けるっ...♡

なんでっ♡
何で弱いところ分かるのっ♡
あたしのダメな所っ♡
おまんこホジられながら♡
クリ舐めなんてっ♡
ズルすぎるっ♡エッチすぎるっ♡

ほじ♡
ほじ♡
ほじ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

ずるいっ…

ずるいっ…

オスはずるいっ…

ぞく…ぞく…

ふー…

ふー…

ふー…

びん…



ビクッ

力が強くてっ…



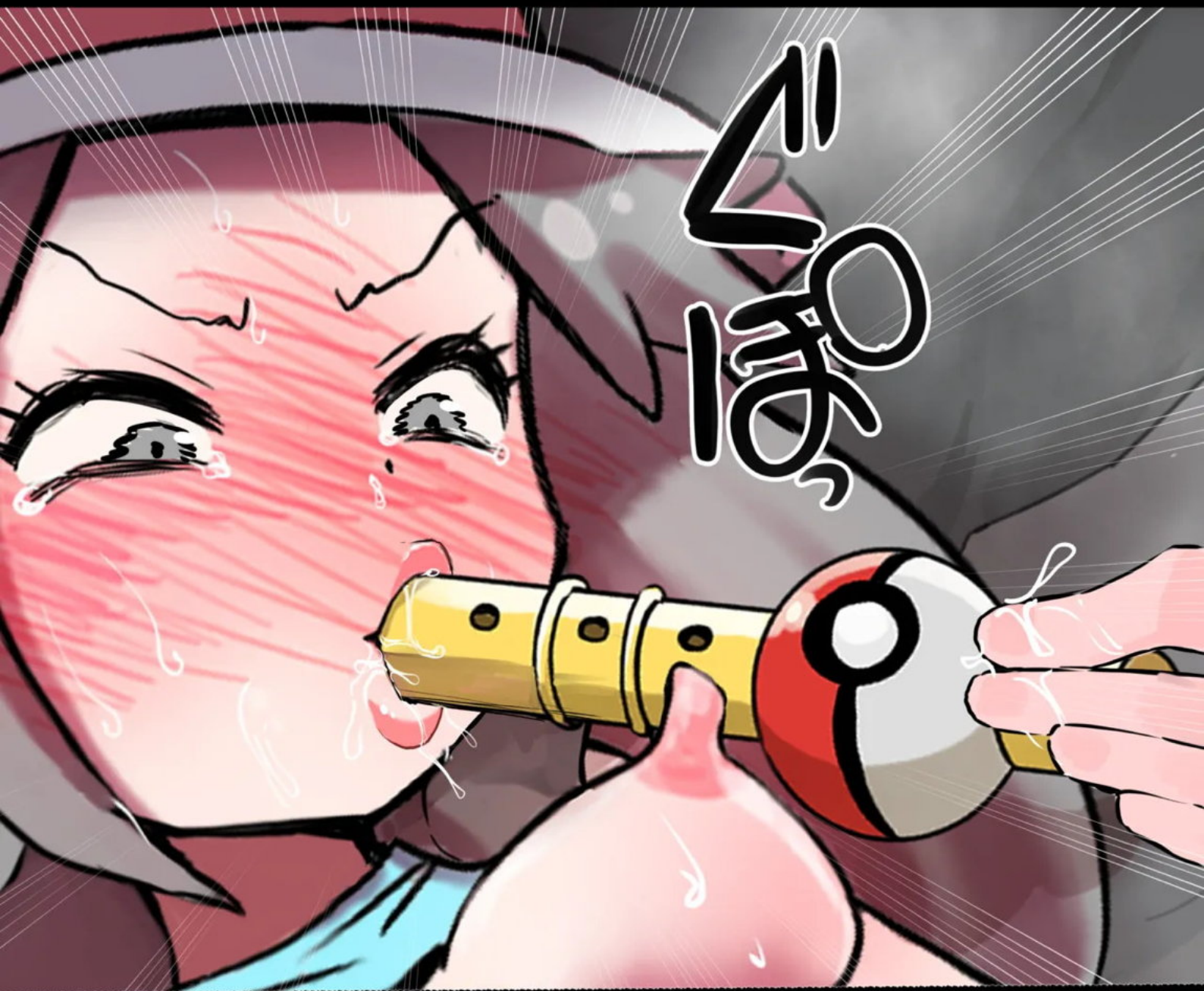
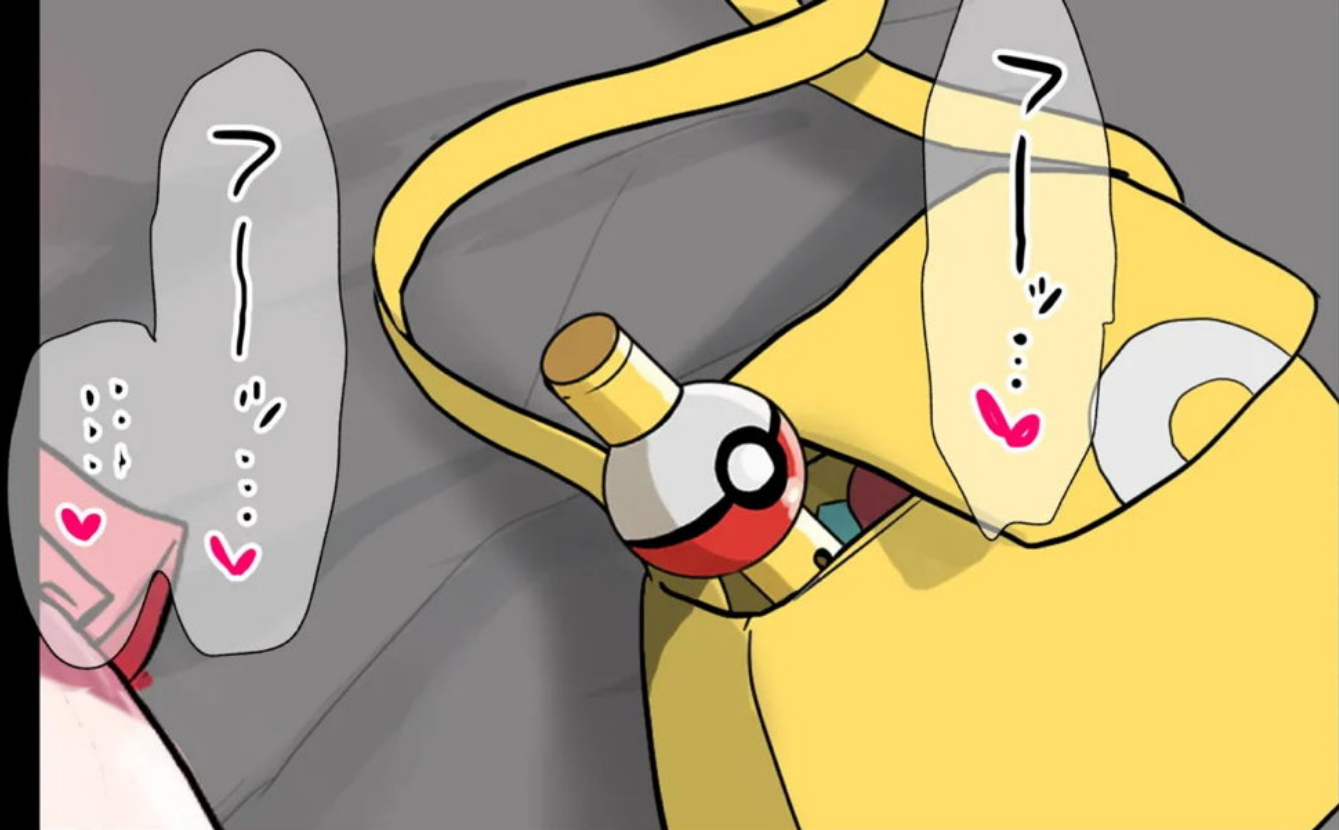
ほいほい♡
ほい♡
くちゅ♡くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

エッチが
上手くてっ…

ふん…

ふん…

ふん…



ちんぽっ！
♡

チンポっ！


♡♡

ビ
ク
ッ

ほい
ほい♡
ほい♡
♡ち♡ ♡ち♡ ♡ち♡
♡ ♡ ♡
74 ♡

オスの
おちんぽ
おおおつ
!!
♡♡



全部チンポが
強いから悪いのよおっ...!!



ナ
♡



ほ♡

おほ♡

おほ♡

ズクズクズクズク



だ……ダメっ!!

は……

ばっ!

は……



は……

襲われる妄想して……っ
お、思い出しオナニー
なんて……
私……最低……っ!

は……

こ……
こんな事……っ!
もうやめなきゃっ……!!

対策よ……
対策を考えるのっ!
今度こそ
負けないんだから!

今度こそっ...



んっ...♡

っ



わっ...
っ...
っ...

ハッ...
ハッ...

ハッ...
ハッ...







ぐくぐくぐく♡

んあ♡♡♡

あ♡♡

わうわうわう
こちゅこちゅこちゅにぱら
ちゅぱらあ♡♡♡



わうわうわう
わうわうわう

えい♡♡♡
へい♡♡♡

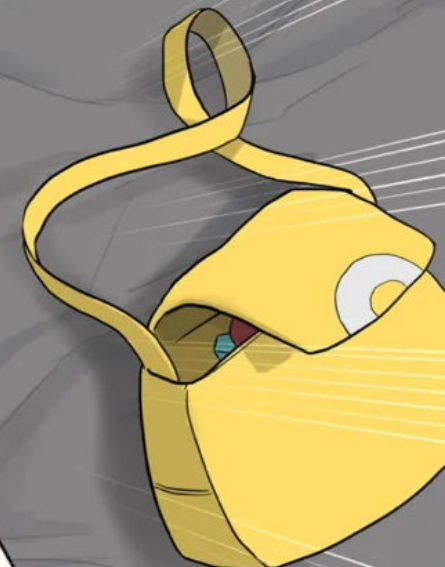
あ♡
どいあ♡にぱらあ♡
あ♡にぱらあ♡♡♡

あ♡にぱらあ♡♡♡

がばっ!

ぐ ちゅ

ぐい♡
ぐい♡



くくくくく♡

お♡お♡お♡

もうすぐ♡

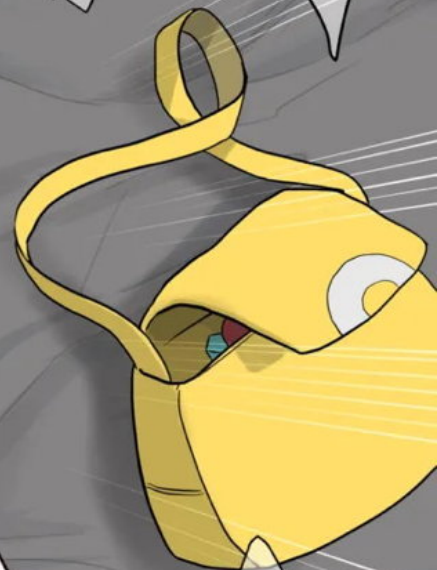
わーい♡わーい♡
うーん♡うーん♡



わうわうわう

あたしの
負け木す♡

ハ♡ハ♡ハ♡



♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

オム♡コハ♡

腋♡コチ♡

♡♡♡

くす♡くす♡
セグス♡
負け木♡

♡♡♡





ガ

し

お

ビッ

中ボリカたる長たる

二一まん一真たる

だんぽに真たる

♡♡♡

チンポらんぞ

精液く

せえき

はははは

グググ

おおお





か
が
か
が
か
が

か
が
か
が

ぽ
ぽ
ぽ
ぽ
ぽ
ぽ

ば
ば
ば
ば
ば
ば

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ



次は負けないように
対策を立てる…?

私は何を考えていたんでしょう…

私はワンリキーのチンポを嗅いだ時から
完全に負けていたのに…

次なんて
あるはずなかったんです

あの時…
ワンリキーが私を笑った目で見た理由が分かりました…

身体の奥…メスの子宮の芯から…わからされた主従関係は
理性なんかでは覆しようがない…

私の主人はチンポになったのだと…あのワンリキーは確信していたのでしう…



ワシリキーの事を思い出す度に所構わず疼いて
下着が使えなくなるくらいグチヨグチヨになる
だらしのないオマンコ…

一日中発情して
思い出しオナニーを止められないから…
外出もできず…

外出できないから
オナニーが止まらない…

人格を
オチンポに支配された…

完全なオナ猿変態女になってしまった私は
もう元には戻れないでしょう……



だから
この手記を読んだ人は
せめて森に近づかないよう
注意を払ってください…

それと…
私の手持ちポケモン達を
よろしくお願いします…

皆強い子ですから…

私の代わりに大切にしてください…



さようなら皆さん

私のことは探るならどこでも

きつと幸せに生きていきますから……

○月◇日 リーフ

△△タウン
ポケモンセンターに
残された手記



!!

また出たわね…
エッチなワンリキー達…!!

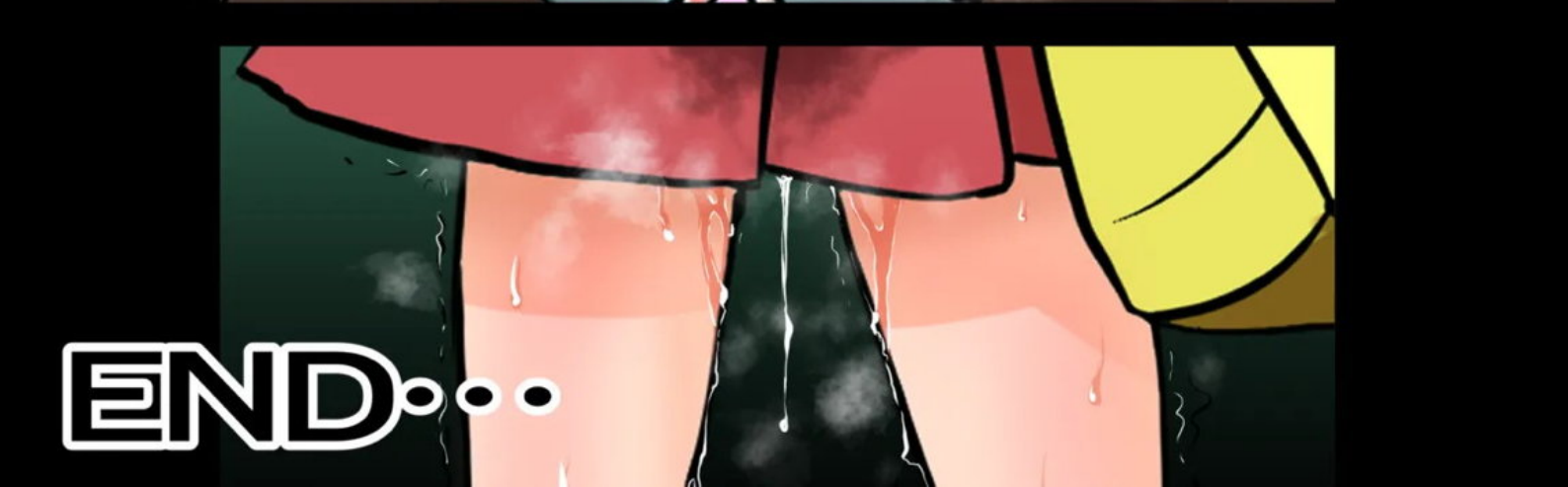






今度は
絶対に……っ

負けないん
だからっ！



END...